

FavorPrep™ Plant Total RNA Extraction Mini Kit

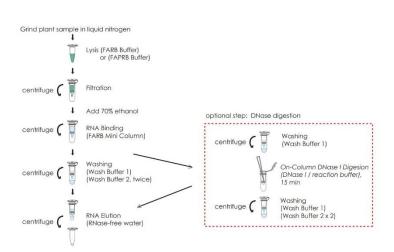
Cat. No.: FAPR1020 (4 回分) / FAPR1023 (50 回分) / FAPR1024 (100 回分) / FAPR1026 (300 回分) 本製品は研究用です v 202505

● キットの内容

	FAPR1020 (FAPRK	FAPR1023 (FAPRK	FAPR1024 (FAPRK	FAPR1026 (FAPRK
	000-Mini)	001)	001-1)	001-2)
	(4 preps)	(50 preps)	(100 preps)	(300 preps)
FARB Buffer	1.5 ml × 2	30 ml	60 ml	170 ml
FAPRB Buffer	1.5 ml × 2	30 ml	60 ml	170 ml
Wash Buffer 1	1.5 ml × 2	30 ml	60 ml	170 ml
Wash Buffer 2 (Concentrate) *	1.5 ml	20 ml	35 ml	50 ml × 2
RNase-Free Water	0.5 ml	6 ml	6 ml	8 ml×2
Filter Columns	4 pcs	50 pcs	100 pcs	300 pcs
FARB Mini Columns	4 pcs	50 pcs	100 pcs	300 pcs
Collection Tubes	8 pcs	100 pcs	200 pcs	600 pcs
Elution Tubes	4 pcs	50 pcs	100 pcs	300 pcs
*添加する96~100%エタノール量				
Wash Buffer 2	6 ml	80 ml	140 ml	200 ml

● 基本情報

構成	シリカメンブレン法(ミニスピンカラム)		
サンプル量	植物組織: 最大 100 mg		
	植物細胞:最大≤1 x10 ⁷ cells		
操作時間	<60 分		
結合量	最大 100 μ g RNA/column		
収量	100 mg 若葉:5~30 μ g		
操作方法	遠心法 もしくは 吸引法		
最小溶出量	30 μ Ι		





● 重要事項

- 1. 操作に関連するものは、RNase-free であることを確認してください。
- 2. 作業を行う際は、ゴム手袋と白衣を着用してください。
- FARB Buffer と FAPRB Buffer は使用前に RNase-free の容器に取り、β-メルカプトエタノールを加えてください。(1 ml の FARB Buffer または FAPRB Buffer に対して 10 μ l の β-メルカプトエタノールを添加)
 警告: β-メルカプトエタノールは人体に有害です。操作時はドラフトチャンバーを使用ください。
- 4. Wash Buffer 2 は開封時に RNase-free エタノール(96~100%)を加えてください。
- 5. 遠心分離は、最大速度(~18,000×g)で行ってください。
- 6. オプション操作を行う場合は、各反応につき、60 μ l の RNase-free DNase I solution (0.25 U/μl) を調製してください。

まず、1 M NaCl, 10 mM MnCl $_2$ または MgCl $_2$, 20 mM Tris-HCl (pH 7.0, 25°C) を含む 10 倍の DNase I reaction buffer を調製します。使用前にこのバッファーを 1 倍に希釈し、DNase I の最終濃度が 0.25 U/ μ I になるように調製します。

● 操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

- 1. 100 mg の植物サンプルを液体窒素下で粉末化し、新しい遠心チューブ(非付属品)に移します。 メモ) 収量が減少する為、100mg 以上の植物サンプルを使用しないでください。
- 2. 500μ l の FARB Buffer(β -メルカプトエタノール添加)を加え、激しくボルテックスします。室温で 5 分間インキュベートします。粘性の高い二次代謝産物を含むサンプル(トウモロコシの胚乳や糸状真菌の菌糸体)の場合は、FAPRB Buffer(β -メルカプトエタノール添加)を使用してください。
 - メモ) 全ての RNA を遊離させるため、サンプル毎に適切な装置を用いて試料を完全に破壊してください。
- 3. Filter Column を Collection Tube に取り付け、混合液を移します。最大速度(~18,000×g)で1分間遠心分離します。
- 4. 上清を新しい遠心チューブ(非付属品)に移します。次のステップで同量のエタノールを加えるため、サンプル量を調整してください。
 - メモ)上清を移す際、ペレット等が混入しないようにしてください。
- 5. 上清に同量の RNase-free 70%エタノールを加え、ボルテックスで十分に混和します。
- 6. FARB Mini Column を Collection Tube に取り付け、混合液(沈殿物を含む)を移します。最大速度で 1 分間 遠心分離し、ろ液を捨て FARB Mini Column を Collection Tube に戻します。
- 7. 混合液を全て処理するまでステップ6を繰り返します。
- 8. <オプション>ゲノム DNA を除去する場合
 - A) 250 μ l の Wash Buffer 1 を加え、最大速度で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、FARB Mini Column を Collection Tube に戻します。
 - B) 750 μ l の RNase-free 70%エタノールを加え、最大速度で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、FARB Mini Column を Collection Tube に戻します。
 - C) 60 μ l の RNase-free DNase I solution (0.25 U/ μ l, 非付属品)を FARB Mini Column のメンブレンの中央に加え、15 分間静置します。





- D) 250 μ l の Wash Buffer 1 を加え、最大速度で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、FARB Mini Column を Collection Tube に戻します。
- E) ステップ 10 に進みます。
- 9. 500 μ l の Wash Buffer 1 を加え、最大速度で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、FARB Mini Column を Collection Tube に戻します。
- 10. 750 μ l の Wash Buffer 2 を加え、最大速度で 1 分間遠心分離します。ろ液を捨て、FARB Mini Column を Collection Tube に戻します。

メモ: Wash Buffer 2 にエタノールが添加されていることを確認してください。

- 11. ステップ 10 を繰り返し、もう一度洗浄します。
- 12. 最大速度で3分間遠心分離し、FARB Mini Column を乾燥させます。 重要! この操作により、残留液がその後の酵素処理を阻害することを防ぎます。
- 13. FARB Mini Column を Elution Tube (付属品) に取り付けます。
- 14. 30~50 μ l の RNase-Free Water を FARB Mini Column のメンブレンの中央に加え、1 分間静置します。 重要! 効率よく溶出させるため、RNase-Free Water を完全に吸着させてください。
 - 30 µ l 未満で溶出した場合、収量が低下する恐れがあります。
- 15. 最大速度で 1 分間遠心分離し、RNA を溶出します。
- 16. 溶出した RNA は-70℃で保管します。